



みなさん こんにちは。暖かくなってきたら雨が降って寒くなったりと気温の変化がありますが、体調お変わりないでしょうか。
 飼い主さんはもちろんですが、ワンちゃん・ネコちゃん達も伝染病には気をつけましょう!!
 今回のテーマは“ワクチン”です。

ワクチンとは?

伝染病の予防注射です。ワンちゃん・ネコちゃんでは病気の種類が違うのでワクチンも違います。
 当院では犬では6種混合ワクチン、9種混合ワクチン、狂犬病ワクチン。猫では3種混合ワクチン、4種混合ワクチンがあります。

犬のワクチン

- 犬ジステンパーウイルス感染症
 - 犬伝染性肝炎
 - 犬パルボウイルス感染症
 - 犬アデノウイルス2型感染症
 - 犬パラインフルエンザ感染症
 - 犬コロナウイルス感染症
 - 犬レプトスピラ症
 - 狂犬病
- 6種混合ワクチン }
 9種混合ワクチン }
- 狂犬病ワクチン

犬ジステンパーウイルス感染症や犬伝染性肝炎、犬パルボウイルス感染症は子犬が感染すると死に至る危険性のある怖い病気です。
 犬レプトスピラ症には3タイプあるので全てで9種混合ワクチンになります。この病気は犬だけでなく、人にも感染する可能性のある病気です。
 狂犬病ワクチンは混合ワクチンとは別で法律で義務づけられているワクチンです。
 狂犬病も人に感染する病気です。症状が出てからわずか1週間程度で死に至る怖い病気です。



猫のワクチン

- 猫ウイルス性鼻気管炎
 - 猫カリシウイルス感染症
 - 猫汎白血球減少症
 - 猫白血病ウイルス感染症
- 3種混合ワクチン }
 4種混合ワクチン }

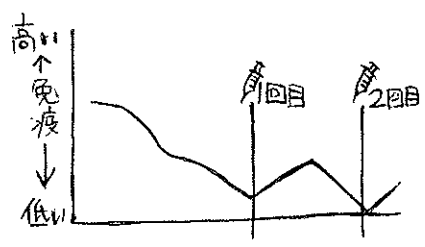
猫ウイルス性鼻気管炎と猫カリシウイルス感染症は“猫カゼ”と言われており、くしゃみ、鼻水、目ヤニなど風邪のような症状が出ます。
 猫汎白血球減少症は下痢や嘔吐など、胃腸障害をおこします。
 猫白血病ウイルスは白血病、いわゆる血液の癌です。いったん症状が出ると完治の見込めない病気です。
 白血病ウイルスを持っている母親から生まれたネコや白血病ウイルスを持っているネコと直接接触(特に口など)において咬まれる)により感染するため、外出するネコや感染の疑いのあるネコと同居しているネコは猫白血病ウイルス感染症の入り口。
 4種混合ワクチンを接種する方が良いでしょう。



ワン接種について疑問

Q. 子犬・子猫のワン接種はなぜ2~3回するの?

A. 子犬、子猫は母親から初乳を通じて移行抗体と呼ばれる免疫をもらいます。移行抗体が子犬・子猫にあり期間中はワン接種してもワン抗体を産生することができません。移行抗体は成長と共に便や尿と一緒に排泄され、消失してしまうので完全に消失すると予測される時期まではワン接種は繰り返して接種する必要があります。



同じようにワン接種をしていても初乳から受け継いだ移行抗体の強さや環境などにより抗体がきちんとつたかどうかは差があります。また、病気の種類によっても移行抗体の薄れる時期に差があります。子犬・子猫にとって伝染病は命にかかわる危険な病気です。より確実な効果を得るため2~3回のワン接種をしましょう。

Q. 成犬・成猫になればワン接種はしなくていいの?

A. ワン接種によって作られる免疫は一生続くものではありません。1年に1回成犬・成猫になっても継続しましょう。

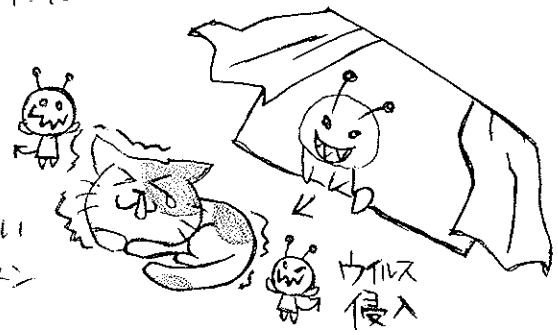


Q. ワン接種をすれば絶対伝染病にならないの?

A. ワン接種をしたからといって100%予防できるわけではありません。1本に侵入したウイルスの量とその動物が持つ免疫力によって症状が出るかどうかが決まります。しかし、ワン接種をしたから全く病気を防ぐことができるのではなく、免疫が弱くまでには数日かかります。

Q. うちの子はいざい外に出ることはないからワン接種はしなくてもいい?

A. ワンちゃん以外に散歩に行くからワン接種は必要だけど、ネコちゃんも室内飼いで外出はしないからワン接種は不要という事はありません。空気感染をしたり、人がウイルスを運んでくることのある完全室内飼いでネコちゃんも最低3種混合ワン接種を接種しましょう。



ANIMAL トピク
人間の首の骨(頸椎)はワコ、
犬・猫の頸椎もワコ、
モリンの頸椎もワコ!!!



西川動物病院
43-0200